

やまとくの詩あしらの詩



2016年版

一般社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

# さよの詩あしたの詩



一般社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集  
2016年版



# 卷頭言

詩謡集委員会

委員長 たきの えいじ

今回も、全国各地から沢山の詩を寄せていただきました。ありがとうございます。

編集の作業をしながら、会員のみなさんの詩に対する情熱と、努力を思います。

今、当作詩家協会は、大きな変革の年を迎えています。そして着実に、各企画を具体的に進めています。協調・調和を掲げてきた協会から、協会設立50周年を大きな節目に、半歩・一步前進し、色々な取り組みを行っています。

作曲家協会、各レコード会社の大きな協力を得て進められた、会員の作品の応募によるCD化。そして又、アーティストを定めた形での作品募集は大きな反響を呼びました。そして、作詩大賞での新しい取り組みも、会員の大きいなる励みとなっていると思います。

この詩謡集の詩の数々、創作の意欲は、正にそこに続く道。

重ねてみなさんの健闘を祈ります。



卷頭言……………たきのえいじ……………一

抱いてやれないわけじゃない……………	アーヴアン 沢井……………	一六
ゴンドラのうたを、もう一度……………	藍慶子……………	一七
夢かがり……………	相原利夫……………	一八
月下美人……………	青木圭介……………	一九
秋の虹……………	青木勇一……………	二〇
限りあるこの人生に……………	青島江里……………	二一
大阪恋あかり……………	赤坂佳津子……………	二二
夜霧の慕情……………	明石真帆……………	二三
ガラシャタ影……………	秋篠さと……………	二四
北海ブルース……………	秋原しぐれ……………	二五
鰯夫酒……………	秋原みまき……………	二六
涙のうさぎ……………	木夢子……………	二七
港・横浜・大桟橋……………	浅倉美智子……………	二八
人形……………	木夢子……………	二九
涙のうさぎ……………	好詩永……………	二〇
赤い野いちご 白い雲……………	二八	二九
夢情の宿……………	二九	二九
みちのくオリオン……………	二九	二九
維新の男 —西郷隆盛—……………	二九	二九
銀座通り雨……………	二九	二九
母の針仕事……………	二九	二九
港 詩……………	二九	二九
恋の夜……………	二九	二九
この道を……………	二九	二九

涙の感謝状	雨はチャペルの鐘の音	故郷の黄昏が恋しい	勇打ち（筑前戸畠祇園大山笠）	かげろう情話	帰心	サハリンおろし風の舞い	心の汽笛	あしたのために	きみの手のひら	心込められれば芝居も命	望郷	北の島	花魁の恋（舞台挿入歌）	君がいたから	こころ花	しあわせ者	雲と月	サクランボ	ジャズ・シンガー	生きる	桜雨	未練花	お父大好き	トンボ
飯村幸一	池上二郎	生駒かつゆき	勇子	石川桃瑪	石川ミホ	石原信一	出原敏光	市川武志	いとう 彩	伊藤彰二	伊藤久子	伊藤裕允	伊藤公美彦	上田和樹	鶴水和樹	羽蝶天香	宇里香菜	海清二郎	清二郎	羅理子	円行元	えんどう	えんどう	大竹幸介
三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四

演歌船	大沼	大前	裕子	旭
氷酒	大山	詩央	六八	六六
長雨月	岡田	佳栄子	六九	七〇
母のたくわん	小川	豊	六七	七一
ウエディング長崎	秋	雨	奥	七三
	恋慕宿	恋文	小口	幸重
	いつでもどうぞ	悲雨降る	小山内	圭
	（沙羅双樹の華の色）	浮舟	織田	七五
	昭和の海が励ますよ	（夢語来里へ）	小野寺	七六
	あなたの風鈴	甘い夜	垣見	正悦
	偲ぶ酒	悲雨降る	桐	七七
	一人飲み	浮舟	和子	七八
	秋恋歌	（沙羅双樹の華の色）	丸	七九
	人生一度つきり	（夢語来里へ）	健十郎	八〇
	婆ちゃんの西瓜	甘い夜	和子	八一
	大阪ふたり	悲雨降る	タケイ子	八二
	りんごつ子	浮舟	夕鶴	八三
	馬鹿でイイんだ	（沙羅双樹の華の色）	金田	八四
	この世のために	（夢語来里へ）	谷	八五
	もう会えないあなたへ	甘い夜	井	八六
	高松みれん	悲雨降る	英良子	八七
	こぼれ花	浮舟	雄太郎	八八
	雨宿り	（沙羅双樹の華の色）	春幸	八九
		（夢語来里へ）	ほせい	九〇
			たかし	九一
			たかし	九二

ぞつこん大漁	喜多條
水 雨	北 村 直 之
阿智川慕情	木 村 賢 司
潮彩の唄	京 えりこ
日本酒で乾杯	京 光 恵
女の彩り・恋暦	京 一 郎
約 束	京 九八
夢のミッドナイト ダンス	霧 野 ゆ う
行くのか	久 仁 京 介
比叡怨情	國 枝 星 志
（坂本の宿）	一〇二
女の逃避行	國 武 浩 之
人生の切符	一〇三
リキュール入りのバレンタイン	藏 助
倉 吉 美由紀	一〇四
白い手紙	栗 沢 涼
甲斐路の女よ	一〇五
暁のまぼろし	黒 川 良 人
雨の漁師町	坂 のぼる
高 坂	一〇九
本当にありがとう	こじま
風のディナーショー	かずみ
噂のあいつ	一 一
母を慕い 讀える歌	一 一
追憶の白い頬	木 五野上
東京インナイト	後 藤
小 林	一 一
保 寿	一 一
宗 力	一 一
一 一	一 一
昭和は遠くなりにけり	一 一
美人川	近 藤
正 人	一 一
一 七	一 一
一 八	一 一
さよなら あなた	紺 野
	あづさ
	一 九

男街道	斎藤清人	一一〇
母は子供のあかり	さいとう	みつお
花供養	坂口照幸	一二二
漁師一代	坂本ひろし	一二三
ロケットを知つてゐるかい	佐久間信	一二四
夫婦一路	作間大輔	一二五
伊香保日暮れ宿	櫻井馨	一二六
風の大陸	桜田さいさく	一二七
愛恋岬	佐々木ひさこ	一二八
登竜門	佐東たどる	一二九
菩薩の半次	佐野源左衛門一文	一三〇
白い月	沢利明	一三一
アールグレイティーとクッキー	汐咲まどか	一三二
涙	式部和泉	一三三
ちょっと綺麗なお姉さん	しばともなり	一三四
さすらい人生	嶋八郎	一三五
日本海・恋慕情	下野登美子	一三六
恋瀬川慕情	白川千恵	一三七
花は優しく美しく	城岡れい	一三八
未知なる世界へ	城山正志	一三九
ふたりの浮夜川	人生縁歌也	一四〇
国生み恋歌	人吹田晴也	一四一
わすれ酒・なみだ酒・わかれ酒	末広きよし	一四二
太陽贊歌	とかただし	一四三
雪 桜	杉江香代子	一四五
あなたの札幌	ひさお	一四五
ころ花	鈴川信也	一四六

三三九度	ふるさとよ!	鈴木紀代	一四七
ためいき坂の恋落葉		鈴木さとし	一四八
おもろい夫婦		鈴木はるか	一四九
武蔵野しぐれ		鈴木木康正	一五〇
転居報告		洲原茂幸	一五一
美しき恋プラハ		本たかし	一五三
大阪三兄弟		関東西	一五四
ふるさと筑西夏祭り		瀬端健二郎	一五五
はぐれ者		せんけいこ	一五六
田端北口 風の町		田浦泰	一五七
二人の花		田浦賢	一五八
笑顔酒		田須よしと	一五九
さよなら大阪		高城のぼる	一六〇
海鳴りの宿		高須はじめ	一六一
風の足あと		高田れい子	一六二
月に吹えるピエロ		高塚和美	一六三
ラッキーレディ		鷹梁恵一	一六四
みちのくの宿		橋敏夫	一六五
石狩男節		橋直人	一六六
故郷はいな		畑和之	一六七
とんかつ赤のれん	高畠じゅん子	一六八	
湯島おんな坂	多岐川大介	一六九	
忘れな草	たきのえいじ	一七〇	
幻の旅	たくわん	一七一	
津軽三味線 酒の旅	田島隆夫	一七二	
エピローグ		博貴	一七三

長押のゆかた		タ	香	一七四
子供達へ		建石		一.....一七五
蝙		田	中	いふき.....一七六
舞踊歌謡	錦絵の舞	たなか	ゆきを	一七七
おんなの橋		棚	波	詞雄.....一七八
テレサ・テン		谷	口文	彦.....一七九
飯坂恋あかり		たにはら	伸	一八〇
風が歌う町		多	野	亮.....一八一
川内原発いらない		玉	利	要.....一八二
街とんび		千	秋	仁.....一八三
おんなの慕情		草	三	紀.....一八四
オラは田舎の神様だ		つ	じ	伸.....一八五
風雪挽歌		津	田雅	道.....一八六
全然大丈夫		戸	桃仙	橋佳.....一八八
枇杷の花		時	島幸	生.....一八七
哀しきピエロ		川	智砂子	一八九
かたかごの花		寺	橋佳	一八八
Heart Heart Heart	Toshiki Hayashi	仁	一	一八九
あなたはうたがた		じ	よう	一九一
故郷は雪の中		だ		
八十路越え		じ		
いろは町唱歌		よ		
追いかけましょう		う		
浮舟「宇治十帖」より	永	有		
スコトン岬	那須野	一		
ラストシーン「恋の終わりに」	奈良	一		
みれん	有真	一	〇〇	

母のふるさと	鳴海	徳一	一一〇一
港・坂出ヤンチャッコ	難波	伸安	一一〇二
あやまらないで	仁井谷	俊也	一一〇三
晩秋	西井戸	学	一一〇四
雲の上の街	西谷	勝己	一一〇五
人生旅路夫婦花	西平	としこ	一一〇六
ちよつと ちよつと 男はん	西脇	照芳	一一〇七
ラーメンの歌	二瓶	みち子	一一〇八
幸せバナナ	N O	M O S S	一一〇九
恋のはぐれ鶲	野沢	冬子	一一〇
舞い扇	羽澤	文子	一一一
無常	橋本	和郎	一一二
ふたりきり	橋本	真寿美	一一三
花蕾	華	みづき	一二四
昭和名残りの女	はまだ	ゆうこう	一二五
男親	林	伸	一二六
あなたが来る	原	文彦	一二七
おなごりコール	遙	北斗	一二八
洒が身にしみる	ヒイロ・ユイ		一二九
夜の街のエキストラ	美山明	葉	一二〇
奥飛騨の女	肥田晃輔		一二一
なごり雪	ひばり野	良子	一二二
面影しぐれ	平井歩	果	一二三
心はいつも	平山貴容子		一二四
有松の宿	雅也		一二五
命の情けの花は咲く	外美子		一二六
模索中	藤友哉		一二七

白髪のあごひげ若さが恋し	不二美風	一三八
ひとり宿	藤村誠	一三九
恋しくて	藤本純行	一三〇
ふたりの絆花	藤本雅則	一一一
世代	ふじわら弘志	一一一
夢千代慕情	文月まさる	一三三
いつかは逢える夢をみて	Fumiko	一三四
聖子のウフフ	平誠三朗	一三五
とと姉ちゃん	芳園寺和光	一三六
南部恋唄	星川成一	一三七
潮騒だより	ほたる翔	一三八
運命川	梵天丸	一三九
バス時刻までの海	楳映二	一四〇
路地裏挽歌	万城たかし	一四一
鞍馬山	真下純	一四二
新宿しぐれ	松井眞佐子	一四三
越冬酒場	松尾江里也	一四四
私を置いて	行かないで	一四五
鯉のぼり	松野捷夫	一四六
人生綱引き	TOKYO 2020	一四七
男と女のラブソーティー	松原高久	一四八
恋と愛のはざまで	円恵介	一四九
Sweet on 嘶家	マヒルムラサキ	一五〇
阿佐ヶ谷 南三丁目	丸山八留男	一五一
最初で最後の手紙	まんだあつこ	一五二
恋文懺悔	三浦節子	一五三
神楽坂ノクターン	三浦正行	一五四

ほの字坂 ..... 美貴裕子 ..... 一五五  
君恋酒 ..... 三木政和 ..... 一五六  
鳴門海峡 ..... 美貴史明子 ..... 一五七  
裕次郎 ..... みさきまさる ..... 一五八  
あの日ふるさとが

（東日本大震災3・11記）

三里

こうじ ..... 一五九

矢車草 ..... 水木水辺

れいじ ..... 一六〇

桜咲く ..... みずみみずみ

百 ..... 一六一

夢追い岬 ..... 道

ひろし ..... 一六二

ナホトカの女 ..... 美手

けんじ ..... 一六四

時は流れて ..... みね

ゆきと ..... 一六五

北海嵐 ..... 峰崎

林二郎 ..... 一六六

故郷の駅 ..... 篠山

しげる ..... 一六七

お初一座 ..... 志郎

一六八

雨の水間線 ..... 宮崎

テルミ ..... 一七〇

風町霧町北の町 ..... 宮内

たけし ..... 一六九

雪の降る頃 ..... 宮崎

一七〇

七面草 ..... 三好

清隆 ..... 一七一

夢の花園のなかで ..... 武笠

和夫 ..... 一七二

小菊咲く日に ..... 村上

周司 ..... 一七三

お義母さん ..... 村田

るり ..... 一七四

男酒よ ..... 桃山

夢 ..... 一七五

ばあばの子守り唄 ..... のりこ

一七六

私のなかの昭和 ..... 森山

光 ..... 一七八

三角のおんな ..... 矢嶋秀司

一七八

雨の糸 ..... 矢嶋圭一

かし ..... 一七九

奥津恋情 ..... 八代圭一

一八〇

ふじのくに		山甲斐 晶子	一八一
えにし道		山川 倖一	一八二
秋田みちのく小唄		八 卷	功一
杜の都		やまさき かくよ	一八四
汽笛を待つわ		やました 貴美	一八五
高山しぐれ		山田 佳泉	一八六
青色ベレー帽		山田 早苗	一八七
浜千鳥の足音		山田 孝雄	一八八
スタジアムのカープ女子		山田 那津子	一八九
あいつの海		山村 漁村	一九〇
荒川恋情話		山本 ユリエ	一九一
ふたりの名残り月		結城 れい子	一九二
野に咲く花		祐田 彰	一九三
母ふたり		悠月	ねね
冷たい雨が降る夜は	Y	ね	一九四
さいはて港町		u k a	一九五
訣別		き	一九六
藍染ゆかた		ちかげ	一九六
彼岸華		ユメ子	一九七
おんな迷い橋		由梨	り
男つてさ		恵子	一九八
桜ラインの歌		陽呼	こじま
最後の夜 ～The last night～	R	吉田	一三〇一
親子夢		井省	一三〇一
京都一夜		すばる。	一三〇一
心の女		人	一三〇五
わだ	若松	かつ子	一三〇六
愛		三〇七	

海峡の夜………綿木義昭三〇八  
懐郷なさけ酒（居酒屋にて）………渡部晃三〇九  
三英傑が行く………渡辺蛍三一〇  
オーバーフェンス………渡邊健三一一  
いつか別れが………渡辺士三一二  
醉町しぐれ………鰐村泰彦三一三  
時空の龍………免三一四

題字 星野哲郎